



軌跡～KISEKI～

第 46 回生 学年通信 No.22

令和 4 年 7 月 20 日発行

坂の途中

学年主任 天野弘之

暑い日が続くかと思えば、梅雨の再来のような空模様。不安定な天候の今日この頃。

7 月もそろそろ下旬にさしかかり、皆さんは高校生活最後の夏休みがもう目の前。

年齢を重ねていくと、高校生活最後の夏休みが人生の分岐点であったと、ふと気づいたりします。やるべきことをやり抜いた人と、そうしなかった人との将来は明確に異なります。

最後の夏休み、もっと大切に過ごしていれば……。そう感じた時には、後悔先に立たず。

現時点で専門学校や短期大学の A O 入試のエントリーを済ませ、合格内定をもらっている人もいます。ここでよくよく自覚しておいてほしいのですが、合格内定はあくまでも合格内定であり、合格ではありません。入学したわけでもありません。そもそもまだ高校を卒業していません。まだ、長い長い坂道の途中です。なのに、もう頂上にたどり着いたと錯覚している人はいませんか。幻影を見ている人がいるのではないのでしょうか。

就職希望者は、求人票公開、履歴書の作成、面接練習、9 月の就職試験が大きな山場、勝負所です。大学進学希望者もこの夏休みを精根尽き果て、へとへとになるくらい休まないで勉強したと誇らしく振り返ることができるものとしてほしいです。模試の結果は今後の取組の方向性を示しているだけ。志望校の判定が悪いからダメだということにはならないし、逆に判定が良いから合格できるという保証にもなりません。志と姿勢をもってチャレンジし続けることは苦難の道ですが、つらい模擬試験と向き合い、弱点を補強し、長所を伸ばそうと努力している皆さんにならできると信じています。やるべきことを自覚し、地道に実行し、ストイックに現実と対峙できた者だけが真の勝者としての資格を手にすることができるでしょう。

『徒然草』に「木登りの名人」というエピソードがあります。弟子を木に登らせ、高所で作業をさせている間は何も言わず、作業を終えて高所から降りてきた最後のところで、「気をつけなさい」と注意する名人。それを不思議に思った兼好が「どうしてこのタイミングで言うのか、飛び降りても平気でしよう」と尋ねたところ、名人は「失敗は必ず簡単のところになってからするものなのですよ」と告げる。兼好は、「木登りの名人」のこの言葉を「聖人の戒め」と称賛します。つまり、「ミスは起きないという油断こそがまさにミスの原因となる。」という普遍的な真理を伝えるエピソードです。

有名な故事成語があります。「百里を行く者は九十を半ばとす」何事も終わりの方ほど困難だ。九分どおりまで来て半分と心得、最後まで気をゆるめるな、という戒めの言葉です。まだまだ、高校生活は坂の途中、終盤ではありません。最後の夏休み、遠雷の音を聞きながら、自分自身の軌跡を心中でたどり、近未来を展望してくれることを願っています。

よい夏休みにしてください。

今月のトピック

～高校最後の夏の大会(野球部)～



7月2日(土)、第104回全国高校野球選手権 兵庫大会の応援に明石トーカロ球場へ行ってきました。対戦チームは尼崎小田。天気も超と言っても過言ではないほどの快晴。結果は 0-9(7回コールド)となりましたが、必死にボールを追いかける姿勢、仲間を応援する姿勢に心を打たれました。

3年間主将としてチームを引っ張ったKくんをはじめ、Sくん、Sくん、助っ人として一緒に戦ってくれたMくん、チームをさまざまな面で支えたマネージャーのOさん、Sさん、Tさん、お疲れさまでした。

多くの生徒が部活動を引退しました。3年間、厳しいこと、苦しいこと、辛いことたくさんあったと思います。それと同時に、嬉しかったこと、楽しかったこと、仲間との協力することの大切さなど、多くのことを学び、多くの経験となったでしょう。その経験を今後は自分の進路実現に活かしてください。部活動指導にあたってくださった諸先生方をはじめ、保護者の皆さま、生徒たちを全力でサポートしていただき、ありがとうございました。そして、まだ現役として活躍している生徒もいます。その生徒たちは、最後の最後、良い結果が残せるよう悔いなく終われるよう、全力を出せるように頑張ってください。



8 月行事予定



日	曜日	予 定
5	金	就職希望本調査締切
15	月	閉庁日
16	火	就職希望者全員登校日(15:00～ 図書室)
17	水	就職希望調査2次締切(12:00)
19	金	就職受験先決定者登校(13:30～ 図書室)
22	月	登校日 大掃除 進学希望者説明会 指定校推薦掲示
23	火	オープンハイスクール
24	水	

